

H0H0EMI

108

ご自由にお持ち
帰りください

TAKE FREE



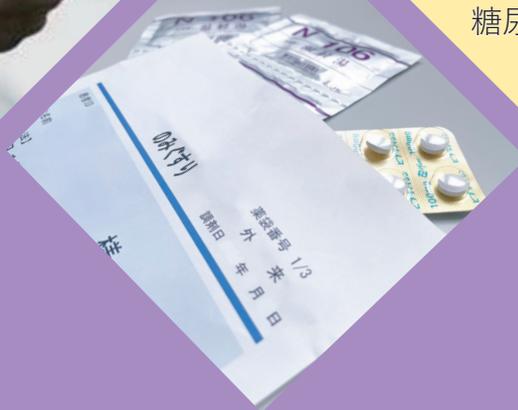
形を創り未来を紡ぐ

形成外科

..... 特集

心を診る、先へ導く

心療内科・内分泌
糖尿病内科



- ▶ 形成外科特集 形を創り未来を紡ぐ
- ▶ 心療内科・内分泌・糖尿病内科 心を診る、先へ導く
- ▶ 栄養士の健康レシピ 白身魚の味噌バターホイル焼き
- ▶ 知っておきたいお薬の話 院外処方とは？
- ▶ ちょっとひといき 糖尿病予防のために



目指すのは、「最後の砦」である使命を、
チーム医療で果たすこと。

当院形成外科は、筑紫医療圏のみならず、福岡市内や久留米、筑豊、さらに佐賀県、熊本県からも対応困難な外傷性四肢切断、また広範な軟部組織欠損などの重度の顔面・四肢外傷も受け入れており、救急軟部組織外傷の最後の砦として頑張っています。また市中病院として救急だけでなく、幅広い形成外科領域の疾患に対し適切に対応できるよう、地域に根差した形成外科として日々精進しています。緊急手術を断らない麻酔科の協力を得て、頭部・顔面外傷は脳神経外科や眼科、耳鼻科と、四肢外傷は整形外科と、科の垣根を越えてチームとして治療にあたっています。新専門医制度が2018年に発足され、医師は研修医の期間が終了すると、19の基本診療科のいずれかで、日本専門医機構が定めるプログラムを5年間研修しないと専門医を取得することができなくなりました。そのため、指導医数や手術件数など、沢山の項目の基準を満たした医療機関が日本専門医機構より基幹施設として認定されています。

3,201名
2023年形成外科新患者数

福岡徳洲会病院 形成外科の患者数・手術件数の推移

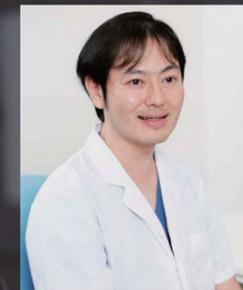
	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
形成外科新患者数	2,803名	2,669名	3,065名	2,965名	3,201名
形成外科入院患者数	675名	600名	731名	754名	905名
入院手術	833件	777件	992件	936件	1,010件
外来手術	453件	359件	408件	404件	385件
上記合計	1,286件	1,136件	1,400件	1,340件	1,395件
うち全身麻酔手術	656件	590件	821件	724件	742件

九州の先駆けとして形成外科医療を牽引。

形成外科は、身体に生じた組織の変形、欠損に対して、本来あるべき姿に近づくよう形態のみならず機能的にも再建修復し、生活の質“Quality of Life”の向上に貢献する、外科系の専門科です。医療法による一般標榜科として正式な診療標榜を認められたのは1975年で、国立大学で講座として初めて承認されたのが1986年と、大変新しい診療科です。福岡徳洲会病院の形成外科は1987年に長崎大学形成外科が医師を派遣し開設されました。九州の市中病院形成外科としては創成期から診療を開始しており、36年の歴史があります。

24時間、1秒でも早く。
その想いは形成外科も変わらない。

現在当院の形成外科は常時30～40名以上の入院患者数を維持しており、昨年の入院患者総数は754名と、年々増加しております。また手術件数も2021年は1,400件、2022年は1,340件、2023年は1,395件と、九州のみならず、全国的にも多い手術件数を誇ります。来院される様々な顔面・四肢を中心とした救急外傷に対して、24時間体制で診療にあたっています。



形成外科 / 部長 塩沢 啓



形成外科 / 部長 西村 剛三



形成外科 / 医長 杉原 佳奈

形成外科 / 医員 小橋 啓太

形成外科 / 医員 古川 くるみ

形成外科 / 医員 天願 翔太

形成外科 / 医員 田中 航太郎

糖尿病のない人と変わらない
寿命と QOLを目指して。

現在、国内で糖尿病を持つ人は約 1000万人と推定されており、高齢化などを背景にその数は増えていると言われます。当科では一人でも多くの糖尿病を持つ人が「糖尿病のない人と変わらない寿命と QOL」を得るという目標を達成できるよう、院内の各診療部門や院外の医療機関と協力し診療にあたっています。



血糖値を診るから、全人的に診るへ。

私たちが目指す糖尿病診療は、血糖値を診るだけでなく、血圧、脂質、体重、喫煙といった総合的なリスク管理や糖尿病の合併症、併存症にも目を配った全人的な医療です。当院はこれらの合併症や併存症に関連した診療科を多数有しており(眼科、腎臓内科、循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科、各種がんの診療科、救急科など)、必要に応じコンサルテーションをしています。当院の総合力で、患者さんを全人的に診療できるのが強みです。



新しい治療法や
外来治療の体制を整えて。

初回診断時点で著明な高血糖の方や、継続治療中でコントロール困難な方の血糖マネジメント目的のご紹介もお引き受けしております。必要に応じ入院加療を行いますが、未治療・治療中断は働き盛りと考えられる 40歳代に多いことが分かっており、仕事の都合等で入院が難しい方も多く考えられます。当科では必要な臨床検査や療養のための栄養相談、自己注射や自己血糖測定の導入などを外来で実施できる体制を整えていますので、著明な高血糖だが入院が難しいという方についてもご相談ください。当科は日本糖尿病学会認定教育施設として、日進月歩の新しい薬物療法や、既存薬における新しい知見を取り入れた治療を展開しております。isCGM(間歇スキャン式持続グルコースモニタリング)も導入しています。



心療内科・内分泌・糖尿病内科/部長
田邊 真紀人



心療内科・内分泌・糖尿病内科/部長
原 健



心療内科・内分泌・糖尿病内科/部長
山下 真



心療内科・内分泌・糖尿病内科/顧問
松林 直

心療内科・内分泌・糖尿病内科/医員 坂上 雄紀



心療内科は、病気の発病のきっかけや経過に心理・身体的ストレスなど、心理社会的要因が関与する身体疾患を診る診療科目です。心療内科の特徴として、心身両面からアプローチするいわゆる全人的医療を実践する診療科であることがあげられます。また、神経性やせ症、神経性過食症などの摂食障害や身体症状を有する不安障害・うつ病なども診療の守備範囲として取り組んでいます。

現代社会は豊かに発展を遂げていますが、その一方で人々は多様なストレスを抱えていると言われていて、同じような苦悩を抱えているように見えても、生活背景やこころの状態は1人1人異なります。そのため個々に合わせた心理支援が重要となってくると考えられるようになってきました。臨床心理士とはそういったこころの問題に取り組む“心理専門職”の証となる資格です。2018年より心理職としては国内初となる国家資格である公認心理師が誕生しました。福岡徳洲会病院では現在常勤心理士3名、非常勤心理士1名が在籍しております。

当院では心療内科医の指示のもと、臨床心理学に基づく知識や技術を用いて日々活動しています。主な活動であるカウンセリングでは、患者さんが抱える問題を聴きながら、その心情や患者さんが置かれている状況の理解に務めることによって、患者さんが主体的に問題解決を行っていきけるように援助を行っています。カウンセリングでは悩みや不安を言葉にすることによって、自分が抱えている問題を整理しやすくなり自分の考えや心理状態に気づき、一度距離を置いて考える事ができるようになります。

リスクを軽減し足を守るフットケア外来



生活習慣や社会環境の変化を背景に糖尿病患者数が増加し、糖尿病から透析導入となる患者さんも増加しています。

糖尿足病変のみならず爪白癬・胼胝・白癬など様々な疾患に対応しています。特に糖尿病や透析などで足病変の重症化するハイリスクの患者さんに対し足の状態の観察を行い、足のケア方法の指導や実施、生活指導などを行い、足に関心を持ってもらうように努めています。また、足と靴に関する知識を持ったシューフィッターによる下肢荷重検査や足部採寸や身体機能評価を元に靴の提案やインソール作成を行い、足病変の予防にも心がけています。





院外処方とは？



外来で処方されたお薬を、診察を受けた医療機関ではなく、病院の外の調剤薬局で受け取ることをいいます。場所は指定されておらず、自身の好きな調剤薬局へ行くことができます。当院が院外処方を推進している理由を紹介していきます。

調剤薬局でお薬をもらう4つのメリット

1. 待ち時間の短縮

当院では、処方箋を調剤薬局に送るためのFAXを設置しています。調剤薬局へあらかじめ処方内容を送信することで、待ち時間の短縮につながります。



3. お薬の副作用の回避

複数の医療機関からの薬を一カ所の調剤薬局で調剤してもらうことによって、お薬の飲み合わせによる副作用の回避がしやすくなり、お薬や健康食品、飲食物との相性の悪さに気づけます。また、薬剤師から日常生活での注意点を含めた説明を受け、相談も可能です。

2. 希望に沿ったお薬の準備

- ① 価格の安いジェネリック医薬品のお渡し
- ② ジェネリックを希望しない場合も対応可能
- ③ 複数の病院で処方されたお薬を希望する形で一包装
お家にお薬の残りがあがる場合は残薬調整を行い
お薬代の削減、重複服用のリスク回避が可能
- ④ 処方箋の期限内であれば都合がよいときにお薬の受け取りが可能

4. かかりつけ薬局・薬剤師の最大限の活用

調剤薬局では「かかりつけ薬剤師制度」があり、お薬を包括的に管理できます。※かかりつけ薬剤師：異なる病院の薬をまとめて把握しており、24時間対応可能です。担当薬剤師が患者さんのニーズに合わせて相談に応じます。病院から処方を受ける薬だけでなく、市販薬の相談も可能です。

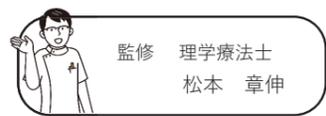
医薬分業(医師と薬剤師がそれぞれの役割を分担して行うこと)が推進されており、院外処方が増加しています。調剤薬局の薬剤師が薬の専門家として患者さんの治療をしっかりとサポートすることが目的の一つです。

院内の薬剤師は、主に入院患者さんに関する業務をおこないます。一般病棟以外にも集中治療室や救急外来、手術室、がん化学療法室に薬剤師を配置し、よりよい薬物療法を提供できるよう努めております。これからもよろしくお願いいたします。

糖尿病 とは

インスリンという血糖を下げるホルモンの作用が弱くなり、血糖値が高くなってしま病気です。日本人の5人に1人が糖尿病または糖尿病予備軍と言われており、様々な合併症につながります。

糖尿病は遺伝と生活習慣が関わってくると言われています。



血糖をコントロールする運動（1日20分以上の有酸素運動！）



〔ウォーキング〕



〔ジョギング〕



〔スイミング〕

白身魚の味噌バターホイル焼き



1人分の栄養素

エネルギー 186kcal
たんぱく質 16.9g
塩分 2.0g



〈 材料：2人分 〉

- ・白身魚 2切れ
- ・にんじん 1/3本
- ・しめじ 1/2パック
- ・えのき 1/2袋
- ・コーン 20g
- ・有塩バター 16g
- ・小ネギ お好みで
- 調味料
- ・味噌 大さじ1
- ・みりん 小さじ2
- ・醤油 大さじ1/2
- ・砂糖 小さじ1

〈 作り方 〉

下準備
にんじんは千切りにし、しめじ、えのきはほぐしておく。

- 1 具材を包み込める位の大きさのアルミホイルに白身魚、調味料、にんじん、しめじ、えのき、コーン、バターの順に乗せ隙間がないように包む。
- 2 トースターで15～20分焼く。
※トースターがない場合はフライパンに並べ、蓋をして中火で4分、弱火に落として7～8分加熱してもおいしくいただけます。

〔 栄養 〕

きのこにはビタミンや食物繊維が豊富に含まれています。低カロリーで満腹感も得られやすいためダイエットにもおすすめです。

〈 食物繊維 〉

食物繊維は水溶性と不溶性の2種類に分類されますが、きのこに多く含まれる食物繊維は不溶性の食物繊維です。不溶性食物繊維は体内の水分を吸収し、便のかさを増やす働きがあり腸を活性化させるので便秘の改善にも効果的です。

〈 ビタミンD 〉

ビタミンDはカルシウムやリンの吸収を促進する働きや、血中カルシウム濃度を調整する働きがあり健康な骨を保つのに重要な栄養素です。骨粗鬆症の予防にもなるのでカルシウムと一緒に摂取しましょう。

栄養ニュースのご紹介



当院の栄養管理士の監修のもと毎月「栄養ニュース（栄養広報新聞）」を発行しています。時期に合わせた特集やレシピなど紹介しています。ホームページからも閲覧ができますので是非ご覧ください。

アンケートご協力のお願い

皆さまにより一層満足していただく広報誌を目指し、広報誌を読んでいた皆さまにご意見をお伺いするアンケート調査を実施しております。下記のQRよりサイトにアクセスしていただき皆さまの率直なご意見ご要望をお聞かせください。ご協力をお願いいたします。



公式 Instagram のご紹介



当院の様子や職員のこと、イベント等の情報を発信しています。是非フォローしてご覧ください。



<https://www.instagram.com/fukuokatokushukai/>

最近はこの投稿をしました！



福岡徳洲会病院公式 SNS

〔 YouTube 〕



頸部・上肢・体幹、下肢、口腔体操・発声練習など体操の動画をアップしています。是非ご覧ください。

〔 福岡徳洲会病院 Instagram 〕



病院の様子やイベント等の情報を発信します。

〔 臨床研修センター（研修医） Instagram 〕



当院に在籍する研修医の研修風景など紹介しています。



医療法人 徳洲会 福岡徳洲会病院
〒816-0864 福岡県春日市須玖北4-5

TEL : 092-573-6622

FAX : 092-573-1733

<https://www.f-toku.jp/>

